

平成28年3月14日

関係各位

公益財団法人 発達科学研究教育センター
理事長 新庄 茂方

平成28年度「発達科学研究教育奨励賞」の募集

公益財団法人 発達科学研究教育センター では若手研究者を対象とした平成28年度の研究助成事業である「発達科学研究教育奨励賞」を下記要領で募集致します。

対象となる研究テーマ

- ・「幼少期の子どもの可能性を引き出し、心身の調和のとれた発達をはかること」を主たる研究テーマとするもの。

応募資格

- ・日本国内の研究機関に属する個人、または数人の共同研究。
- ・平成28年4月1日現在40歳以下で、准教授職以下の方。
- ・所属研究機関の代表者または指導教授の推薦が必要です。

研究助成金

- ・1件当たり50万円を上限。10件位を予定。

募集期間

- ・平成28年4月1日（金）～平成28年6月1日（水）（当財団宛て必着）

応募必要書類

- ・研究計画書、推薦書など。
（詳細は、本財団ホームページ(<http://www.coder.or.jp>) をご参照下さい。

参考（平成27年度受賞の研究テーマ：15件）

- ・親の肯定的・否定的養育行動と発達障がい児の向社会的行動および内在化・外在化問題との関連
- ・児童期の会話場面における語用論知識の発達と障害：依頼の要求表現課題を用いた直接・間接発話の理解について
- ・先天性中枢性低換気症候群（CCHS）の疾患像と発達予後への影響因子の検討
- ・自閉症スペクトラムにおける認知機能と偏食・腸内細菌との関連
- ・乳児は似顔絵から母親顔を認識できるか
- ・児童期・青年期における後悔の予測・利用能力と社会的発達
- ・他者の心的状態の理解および利用スキルの適用メカニズム
- ・子どもが親の精神疾患を受け止める心理プロセスに関する研究
- ・幼児における自然笑顔と作り笑顔に対する社会的期待に関する研究
- ・養育者は身近な死から子どもに生命をどのように教えるのか—家庭での生命観教育に影響を与える要因の検討—
- ・PTSDにおける不安増強機構の解明
- ・幼児の捉える感情語の意味の解明
- ・手の視覚的認知における社会的関係性による調節機構—定型発達児と自閉症スペクトラム障害児との比較—
- ・ゲノム高次構造の破綻がもたらす中枢神経発達障害のメカニズム解明
- ・自閉症スペクトラム障害児における発話と身振りの統合的理解の発達と指示語発話の効果

以上